

2. 国 際 関 係 学 部

国際学科

1. 国際学科の目標と教育方針

国際社会の政治・経済・社会・文化現象を社会科学・人文科学の立場を中心として考察し、国際社会の動向や諸要因の分析、国際開発や政策研究等の諸問題、人類の多様な文化的価値の解明、他文化理解やコミュニケーション能力の向上等について総合的・包括的に教育研究し、英語・中国語を中心とした外国語の修得とともに国際的な知識や視野を備え、国際社会で幅広く活躍できるグローバル人材育成を目標としています。

【知る：knowledge】

幅広い学問領域を有機的に関連づけることで複眼的な思考を養い、世界のさまざまな地域と日本を比較、それぞれの特徴を深く理解していきます。

1年次の「導入科目」で国際関係についての基礎知識を着実に固めた後、「地域研究科目」で世界各地域の特色、「国際政治経済科目」で政治、経済、法律など制度やシステムとしての国際関係、「多文化共生科目」で自然環境、思想、宗教などを含めた広い意味での社会と文化、「世界と日本研究科目」で世界のなかの日本、日本と世界との相互関係を学んでいきます。

【話す：communication】

さまざまな言語を学び、話し、使うことで文化の多様性を理解し、自らの思いを他者に伝えるコミュニケーション能力を身につけていきます。

英語と中国語については、学科基礎科目の「国際英語科目」、「中国語科目」を1年次から開講しています。

2年次からは「地域言語科目」として、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語を開講し、全学共通教育科目の「外国語教育科目」と合わせ、在学中に2言語以上を学ぶことができます。

また、国際的なビジネスシーンで通用する実践的な語学力を身につけるために、TOEICや中国語検定のレベルアップを旨として「アドバンスト英語科目」、「アドバンスト中国語科目」を学科専門科目に配置しています。

【体験する：experience】

多様な考え方や文化を持つ人々と積極的に交流し、社会や海外などの様々な場所で学んだ専門知識や言語を活用することで、大学での学修を体験の伴ったものに深化させていきます。

「国際創造プロジェクト・演習科目」の中に必修の5科目を配置し、学びのスキルを養うと共に、プレゼンテーションやディスカッションを通じて、意見や思考の多様性を確認します。

さらに「ハイブリッド・プロジェクトA・B・C・D」は、学期ごとに示された複数のテーマの中から関心のあるテーマを1つあるいは複数選択し、数名の教員から指導を受けながら、受講生によるグループワークを行っていく体験型の科目です。

また「実践科目」に「海外留学」、「フィールドワーク」、「インターンシップ」を配置することで、今後の学修とキャリア形成に役立つ有意義な体験の蓄積を推奨しています。

【卒業研究】

4年次通年の必修科目として開講される「卒業研究」では、上記の学びや体験すべてを活用して、大

学生活の集大成である卒業論文等の執筆・制作に取り組んでいきます。

2. 自由科目について

卒業に必要な単位数のうち16単位は区分によらず自由に取得できる。これにより取得したものを自由科目という。以下に自由科目となる科目の区分および注意事項を示す。

- (1) 全学共通教育科目のうち取得を義務づけられた単位数を超えて履修する科目。
- (2) 所属する学科の学部教育科目のうち、取得を義務づけられた単位数を超えて履修する科目。
- (3) 他学部・他学科で開設されている学部教育科目（学部共通科目を含む）。ただし、この中には設備と受講者数の関係等から、受講できない科目がある。また卒業研究は自由科目として履修することはできない。
- (4) 所属学科の学部教育科目と同一名称の他学部・他学科科目および各学科ごとに定められた類似科目は履修できない。

3. 履修単位の上限について

各学期に履修できる単位数の上限を下記のとおり定める。

学 期	1	2	3	4	5	6	7	8	計
履修単位上限	20	24	24	24	24	24	20	20	180

- 注) 1. 定められた単位数を超えて履修することはできない。
2. 2つの学期にわたる科目の単位は2分の1として計算する。

4. 学修進行の制限（学修進行の制限に関する規程（27頁）を参照すること。）

第2条 2期（1年次）終了時において、20単位以上を修得しない者は、3期（2年次）以降の授業科目を履修することはできない。

第4条 6期（3年次）終了時において、次の各号に定める単位（科目）を修得しない者は、卒業研究に着手することが認められず、7・8期（4年次）の授業科目を履修することはできない。

- (1) 卒業に必要な単位数のうち100単位

5. 卒業の要件

全学共通教育科目	初年次教育科目		必修科目1単位	18単位以上	124単位以上
	スキル教育科目		6単位以上		
	外国語教育科目		[英語以外の外国語*2単位, 日本語スキル2単位, 情報スキル2単位を含む]		
	教養課題教育科目	人文リテラシー	10単位以上		
		社会リテラシー			
		科学技術リテラシー			
	リベラルアーツ教育科目				
	特別課題教育科目				
健康とスポーツ		必修科目を含めて1単位以上			
スポーツ活動					
学部教育科目	学科基礎科目	導入科目	8単位以上	90単位以上	
		地域研究科目	6単位以上		
		国際英語科目	6単位以上		
		中国語科目			
		地域言語科目			
	学科専門科目	アドバンスト英語科目			
		アドバンスト中国語科目			
		国際政治経済科目	24単位以上		
		多文化共生科目			
		世界と日本研究科目			
	学科応用科目	実践科目			
		国際創造プロジェクト・演習科目	必修科目を含めて5単位以上		
卒業研究		4単位(必修)			

卒業要件の総単位数124単位以上の中には、自由科目を16単位まで含むことができる。

*「英語以外の外国語」該当科目は以下のとおり。

ドイツ語入門Ⅰ, ドイツ語入門Ⅱ, フランス語入門Ⅰ, フランス語入門Ⅱ, 中国語入門Ⅰ, 中国語入門Ⅱ, スペイン語入門Ⅰ, スペイン語入門Ⅱ, ポルトガル語入門Ⅰ, ポルトガル語入門Ⅱ, 韓国語入門Ⅰ, 韓国語入門Ⅱ

6. 各種資格取得について

(1) 国際学科を卒業することによって、取得可能な資格

資格の名称	取得の要件
高等学校教諭一種免許状「公民」	所定科目修得 19ページ～参照
高等学校教諭一種免許状「地理歴史」	
学芸員	所定科目修得 37ページ～参照
司書	所定科目修得 40ページ参照

(2) その他、受講できる講座

日本語教員養成講座

現在、日本語教員には、法にもとづく免許制度はないが、本講座修了者には、卒業時に「日本語教員養成講座修了証書」を交付する。詳細は、41ページ～参照。

国際関係学部国際学科教育課程

全学共通教育科目

(単位数に○印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
			I		II		III		IV				
			1	2	3	4	5	6	7	8			
初年次教育科目	スタートアップセミナー	①	2										
スキル教育科目	英語スキル I	1	2										
	英語スキル II	1		2									
	英語スキル III	1			2								
	英語スキル IV	1				2							
	日本語スキル A	2	2	(2)									
日本語スキル B	2				2							※注1 夏季集中	
	情報スキル入門	2	2										
	情報スキル活用	2		2									
外国語教育科目	留学英語 A (TOEFL)	1			2								
	留学英語 B (TOEFL)	1				2							
	資格英語 A (英検)	1			2								
	資格英語 B (TOEIC)	1				2							
	イングリッシュワークショップ	1					2	(2)					
	パセオアカデミックL&S A	2	4										
	パセオアカデミックL&S B	2		4									
	パセオアカデミックR&W A	2	4										
	パセオアカデミックR&W B	2		4									
	パセオコンテンツ A	1	2	(2)									
	パセオコンテンツ B	1	2	(2)									
	ドイツ語入門 I	1	2										
	ドイツ語入門 II	1		2									
	フランス語入門 I	1	2										
	フランス語入門 II	1		2									
	中国語入門 I	1	2										
	中国語入門 II	1		2									
	スペイン語入門 I	1	2										
	スペイン語入門 II	1		2									
	ポルトガル語入門 I	1	2										
	ポルトガル語入門 II	1		2									
	韓国語入門 I	1	2										
	韓国語入門 II	1		2									
実践外国語 A	1			2								※注2, 注3	
実践外国語 B	1				2							※注2, 注3	
語学研修 A	1	2	(2)									※注1, 注3	
語学研修 B	1		2	(2)								※注1, 注3	

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考											
			I		II		III		IV													
			1	2	3	4	5	6	7	8												
教養課題教育科目	人文リテラシー	世界の歴史と日本	2		2	(2)																
		日本の歴史と文化	2		2	(2)																
		芸術の世界	2		2	(2)																
		芸術の表現	1		2	(2)																
		映像を読む	2		2	(2)																
		教育をみつめて	2		2	(2)																
	社会リテラシー	現代社会と法	2		2	(2)																
		日本の憲法	2		2	(2)																
		政治と社会	2		2	(2)																
		現代経済とビジネス	2		2	(2)																
		生活環境と人間	2		2	(2)																
		心と身体	2		2	(2)																
	科学技術リテラシー	数学の思考法	2		2	(2)																
		物理と自然	2		2	(2)																
		化学と物質	2		2	(2)																
		生物と環境	2		2	(2)																
		生命と医療	2		2	(2)																
		科学技術と社会	2		2	(2)																
		地球と生命	2		2	(2)																
		データサイエンスのための数理要論 問題解決のための統計学入門	2		2	(2)																
リベラルアーツ教育科目	リベラルアーツ課題演習A	2						2	(2)													
	リベラルアーツ課題演習B	2						2	(2)													
	リベラルアーツ課題演習C	2						2	(2)													
	自己開拓A	1		2																		
	自己開拓B	1		2																	※注4 集中講義	
特別課題教育科目	人類と資源	2			2	(2)																
	持続学のすすめ	2			2	(2)																
	地域の防災と安全	2			2	(2)																
	地球を観る	2			2	(2)																
	グローバル環境論	2			2	(2)																
	地域共生実践	2		2	(2)																	
健康とスポーツ	健康科学	①	2	(2)																		
	スポーツA	1			2																	
	スポーツB	1				2																
	スポーツC	1			2	(2)																

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考										
			I		II		III		IV												
			1	2	3	4	5	6	7	8											
スポーツ活動	スポーツ活動A	1	2																		} ※注1 指定された者のみ履修できる
	スポーツ活動B	1		2																	
	スポーツ活動C	1	2																		
	スポーツ活動D	1		2																	
	スポーツ活動E	1	2																		
	スポーツ活動F	1		2																	
	スポーツ活動G	1	2																		
	スポーツ活動H	1		2																	

- ・※注1 「スポーツ活動A」「スポーツ活動B」「スポーツ活動C」「スポーツ活動D」「スポーツ活動E」「スポーツ活動F」「スポーツ活動G」「スポーツ活動H」「語学研修A」「語学研修B」「日本語スキルB」は履修単位の上限に含めない。
- ・※注2 「実践外国語A」「実践外国語B」は「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「スペイン語」を扱う。
- ・※注3 「実践外国語A」「実践外国語B」「語学研修A」「語学研修B」は英語または英語以外の外国語に関する卒業要件単位に含めない。
- ・※注4 「自己開拓B」は集中講義で開講されるが、履修単位の上限に含める。
- ・新入生の1期については、所属の学部、学科が指定した全学共通教育科目のみ受講できる。
- ・開講期については、() で記された期に開講することもある。

学部教育科目

(単位数に○印のある科目は必修科目)

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								他学部 他学科 受講可 不可	備考	
			I		II		III		IV				
			1	2	3	4	5	6	7	8			
導入科目	S D G s 国際関係入門	2	2										8単位以上取得すること
	地域研究入門	2	2										
	法学概論	2		2									
	経済学概論	2	2										
	政治学概論	2	2										
	世界史概論	2		2									
	文化人類学入門	2	2										
	社会学入門	2	2										
	世界の言語入門	2		2									
アジア研究入門	2	2											
地域研究科目	東アジアから学ぶA	2			2								6単位以上取得すること
	東南アジアから学ぶB	2				2							
	アフリカから学ぶC	2				2							
	西アジアから学ぶD	2					2						
	ヨーロッパから学ぶE	2						2					
	ラテンアメリカから学ぶF	2							2				
基礎科目	国際英語 I A	1	2										6単位以上取得すること
	国際英語 I B	1	2										
	国際英語 I C	1	2										
	国際英語 II A	1		2									
	国際英語 II B	1		2									
	国際英語 II C	1		2									
	国際英語 III	2			4								
	国際英語 IV	2				4							
中国語科目	中国語 A	2	4										
	中国語 B	2		4									
	中国語 C	1			2								
	中国語 D	1				2							
地域言語科目	ドイツ語 I	2			4								
	ドイツ語 II	2				4							
	フランス語 I	2				4							
	フランス語 II	2					4						
	スペイン語 I	2					4						
	スペイン語 II	2						4					
	韓国語 I	2					4						
	韓国語 II	2						4					

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								他学部 他学科 受講可 不可	備考		
			I		II		III		IV					
			1	2	3	4	5	6	7	8				
学 科 専 門 科 目	アドバンスト英語習	国際ビジネス英語 A	1					2					◇	国際政治経済科目・ 多文化共生科目・ 世界と日本研究科 目の中から、合計 で24単位以上取得 すること
		国際ビジネス英語 B	1						2				◇	
		国際時事英語	1					2					◇	
		国際観光・ホテル英語	1						2				◇	
		アドバンスト中国語習	ビジネス中国語 A	2		4							◇	
		ビジネス中国語 B	2			4							◇	
		資格中国語 A	2				4						◇	
		資格中国語 B	2					4					◇	
		SDGs 国際関係論	2			2								
		国際政治学	2		2									
		国際政治史	2			2								
		国際法	2		2									
		国際機構論	2				2							
		国際経済学	2			2								
		国際金融論	2					2						
		国際協力論	2		2									
		国際公共政策論	2			2								
		文化人類学	2		2									
		社会学	2		2									
		宗教学	2				2							
	比較宗教学	2					2							
	ソールドワーケ	2			2									
	フイールドワーケ	2			2									
	古文文化論	2		2										
	古文文化論 A	2		2				2						
	古文文化論 B	2			2									
	地理学	2					2							
	環境学	2						2						
	人間社会学	2							2					
	芸文社会学	2				2								
	西洋文化史	2				2								
	世界遺産学	2				2								
	博物館と文化	2					2							

区分	授業科目	単位数	毎週授業時間数								他学部 他学科 受講可 不可	備考		
			I		II		III		IV					
			1	2	3	4	5	6	7	8				
学科 専門 科目	世界と日本 研究科目	国際ジェンダー論	2						2					国際政治経済科目・ 多文化共生科目・ 世界と日本研究科 目の中から、合計 で24単位以上取得 すること
		比較社会論	2					2						
		グローバルビジネス論	2					2						
		民俗学	2						2					
		世界の日本の	2				2							
		世界の民族音楽	2				2							
		日本の歴史A	2				2							
		日本の歴史B	2				2							
		音声学	2				2							
		日本語教授法A	2				2							
		日本語教授法B	2				2							
日本語教育実践A	2					2								
日本語教育実践B	2						2							
日本語教育実習	1							2				※注3		
学 科 応 目	実践 科目	海外留学A	2			2						◇	※注1	
		海外留学B	2			2						◇	※注1	
		海外留学C	2			2						◇	※注1	
		海外留学D	2			2						◇	※注1	
		フィールドワーク	1									◇	※注2	
		インターンシップA	1					1				◇	※注3 集中	
		インターンシップB	2					6				◇	※注3 夏季集中	
インターンシップC	1					3				◇	※注3 夏季集中			
用 科 目	国際創造 プロジェクト・演習科目	ハイブリッド・プロジェクトA	1	2									必修科目を含め5 単位以上取得する こと	
		ハイブリッド・プロジェクトB	1		2									
		ハイブリッド・プロジェクトC	1			2								
		ハイブリッド・プロジェクトD	1				2							
		国際基礎演習①	①	2								◇		
		国際応用演習A	①		2							◇		
		国際応用演習B	①			2						◇		
国際専門演習A	①				2					◇				
国際専門演習B	①					2				◇				
卒 業 研 究		④						4	4		◇	※注4		

※注1 海外への派遣留学および認定留学専用の読替科目。

※注2 学生が休業期間を利用して行う、社会、文化、歴史、地理、政治、経済、開発などに関する海外における自主調査について成績評価を行う。ただし、往復の移動等を除く現地での活動時間が45時間以上であり、事前の「実施計画書」ならびに実施後の「成果報告書」を所定の期限までに提出し、計画の安全性・妥当性および報告書の内容について国際関係学部の承認を受けることを必須の要件とする。なお、この科目は履修単位の上限に含めない。

※注3 「インターンシップA」「インターンシップB」「インターンシップC」「日本語教育実習」は、履修単位の上限に含めない。

※注4 卒業研究は通年科目であり、同一年度内の春学期（7期）・秋学期（8期）を通した履修が必要となる。

・卒業研究の開講時間については、指導教授の指示によること。

- ・新入生の1期については、別に定める科目についてのみ履修することができる。ただし、集中講義、および外国人留学生対象の『日本語』はこれに含まない。
- ・他学部・他学科受講不可の欄に◇印がある科目は、他学部・他学科の学生は履修することはできない。

国際関係学部 教職課程（教育職員免許状の取得）

1. 教職課程について

学校（小学校、中学校、高校など）の先生（教諭・講師など、教育職員）になるには、それにふさわしい教育職員免許状を取得し、加えて、教員採用試験に合格し採用されなければならない。この教育職員免許状を取得するための課程を「教職課程」と呼ぶ。

一般に大学は、教員養成を目的とする課程に限らず、多様な目的の課程において、その専門性に応じた教職課程をつくり、国の認定を受け、教員養成を行うことができる（開放制の原則）。

本学では、教職課程を認定された学科（専攻）に入学した学生が、以下のとおり、1年次春学期に当該教職課程の履修を登録し、指定された科目と単位数を修得、さらにその学士課程を修め、基礎資格を得ることで、当該の教育職員免許状授与資格を得ることができる。この授与資格をもとに、都道府県の教育委員会に申請して、その免許状が授与される。

免許状の取得は、教職に就くために必要な条件であるが、それだけでは教員になれない。教員になるためには、教員採用試験に合格し採用される必要がある。

そのため、教員を志す者は、広く教養科目を履修し、教職課程の科目においても優秀な成績をあげるよう努力しなければならない。

2. 取得可能な免許状について

学 科	免許状の種類
国 際 学 科	高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）

3. 免許状取得のための基礎資格と法定必要単位数について

免許状を取得するためには、教育職員免許法で定められた「基礎資格」と、同法施行規則に定められた科目についての単位を修得する必要がある。

	基礎資格	教科及び教科の指導法に関する科目	「教育の基礎的理解に関する科目」等	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目
高 校	学士の学位を有すること	24単位以上	23単位以上	12単位以上	8単位以上

4. 国際関係学部において免許状取得に必要な最低修得単位数について

本学では「大学が独自に設定する科目」の開設がないため、前表に記載している「大学が独自に設定する科目」の単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」「『教育の基礎的理解に関する科目』等」の必要単位数を超えて修得した単位数をもって充てるものとする。

免許種	対象学科	基礎資格	必要な科目および単位数		
			専門科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	
許状 (地理歴史) 高等学校教諭一種免	国際学科	学士	教科及び教科の指導法に関する科目 24単位以上	合計 59単位以上	日本国憲法 2単位以上 体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上
			「教育の基礎的理解に関する科目」等 23単位以上		数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位以上
免許状 (公民) 高等学校教諭一種	国際学科	学士	教科及び教科の指導法に関する科目 26単位以上	合計 59単位以上	日本国憲法 2単位以上 体育 2単位以上 外国語コミュニケーション 2単位以上
			「教育の基礎的理解に関する科目」等 23単位以上		数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 2単位以上

5. 教職課程の履修について

教職課程の履修は、1年次春学期に「教職課程履修の登録」、進級時に「教職課程履修の継続」を申請し、認められることによって可能になる。教職課程の履修に求められる条件等や履修上の注意事項の主なものを下にあげる。

(1) 教職課程履修の登録には、次の条件をすべて満たしている必要がある。

- ① 教師になる意志があること。
- ② 1年次5～6月の教職課程履修登録説明会に出席していること。
- ③ 期日までに教職課程受講料（登録費）10,000円を納め、教職課程の履修登録手続を完了していること。

登録は1年次春学期のこの機会に限る。登録説明会については、掲示板等に公示する。

(2) 進級時、教職課程履修の継続には、次の条件をすべて満たしている必要がある。

- ① 教師になる意志があること。
- ② 各学科が定める履修継続条件（通算GPA等。教職課程履修登録説明会で配布）。
- ③ 教職課程ガイダンスや事前指導にすべて出席していること。
- ④ 期日までに教職課程履修継続申請書を提出していること。

(3) 4年次に教育実習を履修する者は、次の要件をすべて満たしている必要がある。

- ① 卒業見込みが確実であること。
- ② 原則として、3年次終了までに、履修すべき「『教育の基礎的理解に関する科目』等」および「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の必修科目をすべて修得していること。

(4) その他、次の事項について、注意して履修すること。

- ① 「『教育の基礎的理解に関する科目』等」「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」、および「教科に関する専門的事項」の内「職業指導（工業）」「職業指導（農業）」「職業指導（商業）」「情報と職業」は、「卒業に必要な単位数」および「履修単位数の上限」に算入されない。
- ② 上記以外の「教科に関する専門的事項」および「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」は、「卒業に必要な単位数」および「履修単位数の上限」に算入される。

●現代教育学部の科目について

現代教育学部の教職課程で開設されている科目は、現代教育学部で取得可能な幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭・中学校教諭（理科・国語・数学）の教育職員免許状取得のために開設されている科目である。所属学部で取得可能な教育職員免許状取得のための科目として単位を認めることはできない。

必ず、所属学部で開設されている科目を履修すること。

6. 必要単位数の詳細について

<教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		本学における開設授業科目等			
科目	単位数	授業科目	単位数	教職課程必修科目	備考
日本国憲法	2	日本の憲法	2	○	
体育	2	健康科学	1	○	
		スポーツ A	1		
		スポーツ B	1		
		スポーツ C	1		
外国語コミュニケーション	2	英語スキル I	1		同一言語の科目を2単位修得すること
		英語スキル II	1		
		英語スキル III	1		
		英語スキル IV	1		
		ドイツ語入門 I	1		
		ドイツ語入門 II	1		
		フランス語入門 I	1		
		フランス語入門 II	1		
		中国語入門 I	1		
		中国語入門 II	1		
		スペイン語入門 I	1		
		スペイン語入門 II	1		
		ポルトガル語入門 I	1		
		ポルトガル語入門 II	1		
		韓国語入門 I	1		
		韓国語入門 II	1		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報スキル入門	2		
		情報スキル活用	2		
合計	8	最低修得単位数	8		

国際関係学部

< 「教育の基礎的理解に関する科目」等 >

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等											
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数 高校	授 業 科 目	単位数 高校	教職課程必修科目	毎週授業時間割								備考
						I		II		III		IV		
						1	2	3	4	5	6	7	8	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2	○			2						
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	○	2								
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	2	○					2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		学校教育社会論	2	○	2								
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		学習・発達論	1	○			1						
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	○					1				
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程総論	2	○			2						
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	8	総合的な学習の時間の指導法	1	○					1				
	特別活動の指導法		特別活動論	1	○					1				
	教育の方法及び技術		教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2	○				2					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			生徒指導・進路指導	2	○			2					
	生徒指導の理論及び方法		学校教育相談		2	○				2				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	○								
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法													
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習 A	3	○								※ 1	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2	○							2		
合 計		23	最低修得単位数	25										

※ 1 「教育実習 A」は、4 年次集中。

● 「『教育の基礎的理解に関する科目』等」は、「卒業に必要な単位数」および「履修単位数の上限」に算入されない。

国際関係学部

<「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の詳細について>

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等												
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	教職課程必修科目	毎週授業時間割								備考	
		高 校		高 校		I		II		III		IV			
						1	2	3	4	5	6	7	8		
教科及び教科の指導法に関する科目の指	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	○					2					
			社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	○						2				
			社会科・公民科教育法Ⅰ	2	○					2					
			社会科・公民科教育法Ⅱ	2	○						2				

※ 各教科の指導法は取得しようとする免許状の教科ごとに履修すること。

- 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」は「卒業に必要な単位数」および「履修単位数の上限」に算入されない。

<教科及び教科の指導法に関する科目>

国際学科「地理歴史」

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等		
科目	各科目に含めること が必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	義 務 修 得 目 録
		高校		高校	
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史	20	世界の <u>中の日本</u>	2	
			<u>日本の歴史A</u>	2	○
			<u>日本の歴史B</u>	2	○
	外国史	20	<u>世界史概論</u>	2	○
			<u>国際政治史</u>	2	○
			<u>西洋文化史</u>	2	
	人文地理学・自然地理学	20	<u>人間と環境</u>	2	○
			<u>人文地理学</u>	2	○
			<u>地域研究入門</u>	2	○
			東アジアから学ぶA	2	
			東アジアから学ぶB	2	
			アフリカから学ぶ	2	
			西アジアから学ぶ	2	
ヨーロッパから学ぶ			2		
ラテンアメリカから学ぶ			2		
北米から学ぶ			2		
アジア研究入門	2				
地誌	20	<u>地誌A</u>	2	○	
		<u>地誌B</u>	2	○	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	○	
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	○	
合 計		24	最低修得単位数	24	

※ 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の開講期等の詳細についてはP. 23を参照。

● 授業科目の下線は一般的包括的な科目を指す。

国際学科「公民」

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開設授業科目等		
科目	各科目に含めること が必要な事項	単位数	授 業 科 目	単位数	義 務 修 得 目 録
		高校		高校	
教科及び教科の指導法に関する科目	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	20	<u>法学概論</u>	2	○
			<u>国際法</u>	2	○
			SDGs国際関係入門	2	
			SDGs国際関係論	2	
			<u>国際政治学</u>	2	○
			<u>政治学概論</u>	2	○
			国際機構	2	
			<u>経済学概論</u>	2	○
			<u>国際経済学</u>	2	○
			<u>社会学</u>	2	○
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	20	文化人類学入門	2	
			文化人類学	2	
			<u>社会学入門</u>	2	○
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	20	国際ジェンダー論	2		
		比較社会論	2		
		民俗学	2		
		<u>宗教人類学</u>	2	○	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4	<u>比較宗教学</u>	2	○	
		<u>社会思想史</u>	2	○	
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2	○	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	○	
合 計		24	最低修得単位数	26	

※ 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」の開講期等の詳細についてはP. 23を参照。

● 授業科目の下線は一般的包括的な科目を指す。